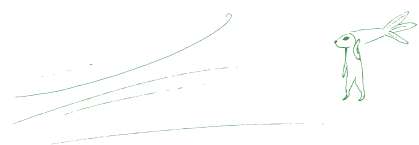


先生 「そういう視点で来るか!」というようなこちらの想像を超えた作品が多かったです。

先生 作品にそれぞれの生徒の個性が出ていました。同じ題材でもチームによって人物の描き方が違って、彼らが今何に興味を持っているのが作品に表れていました。

生徒 チームでの活動で、それぞれの長所を活かしたと思います。チームのみんなには、文を書くのが上手な人、音楽が好きな人、センスがいい人、パソコンが得意な人などたくさんの長所がありました。ひとりがミスしても補い合い、気持ちよく作業を進めることができるとてもよかったです。



先生 チームで取り組むことによって、生徒たち同士で技術を教え合い、プロ顔負けの映像編集をしたチームもありました。こちらは何も教えていないのに、ここまでできるなんてと驚きました。

生徒 膨大な情報の中から何をとり上げるかを考えて、チームとしてひとつの意見にまとめるのが大変だった。同じ人物でも、チームによって内容や表現が全然違って面白かった。

TWICE PLAN

お問い合わせ

株式会社トゥワイス・リサーチ・インスティテュート
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町1-11-804
Tel 03-6861-3553 / Fax 03-6861-3554
Mail info@twiceresearch.jp
URL http://twiceresearch.jp

先生 チームで作品をつくり上げるということがモチベーションになっていたし、はじめてプレゼンテーションをする生徒にも取り組みやすいワークだったと思います。

The voice of Teachers and Students

“人間ドキュメンタリー”ワークを体験した先生方、生徒たちの感想です。

授業での様子やこの体験をとおして気づいたこと、実感したことなど、実際に教室でお聞きした声をご紹介します。

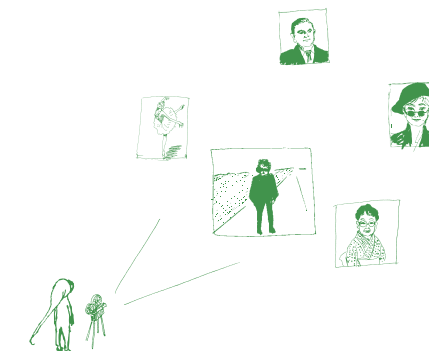
● 先生の声 ● 生徒の声

先生 ウィキペディアの情報だけでなく、様々なサイトを調べて、自分たちで選んだ人物に興味を持って感想を言い合っては、集中して盛り上がっていました。自主性を重んじて課題を与えたときの生徒たちの集中力、探究力はすごいですね。

生徒 人の人生を考えているうちに、自分たちの将来の話で盛り上がった!この授業をとおして、協力することの大切さ、楽しさ、心強さも学ぶことができました。

先生 先人の人生の作品をつくる過程で、自然と自分たちの進路の話になっているチームもあった。それぞれが自分の進路を考えるきっかけになっていました。

生徒 チームを組んで、いろんな議論をすることで、もともと仲のよかった友だちも意外と好きなものや趣味がバラバラだったりとお互いの新たな一面を見つけることができました。



TWICE PLAN LIFE 01

“人間ドキュメンタリー”ワーク

「そう、こんな人生もあるんだ」
——ロールモデルの人生を描く“人間ドキュメンタリー”制作

さまざまな分野で活躍した人の人生を題材に、「人間ドキュメンタリー」をつくるワークです。

チームで協力してそれぞれの主人公の歩みをたどり、リサーチとディスカッションを積み重ねながら作品を制作します。

【身につく力】

進路意識の向上、コミュニケーション力、チームワーク力、問題発見・解決力、論理的思考力、情報収集・活用力、情報モラル、プレゼンテーション力



“人間ドキュメンタリー”ワーク

実在の人物の 人生から力をもらう

魅力的な仕事をし、人生を生きた実在のロールモデルたちは、出会いのときから生徒たちの学びに力を貸してくれます。作品をつくりながら、その偉業や生き立ち、背景のエピソードに、驚き、共感してつくり込む。その過程でいつのまにか「人が生きることの力とは何か？」を見つけていきます。学校の取り組みに合わせた独自の人选も可能です。

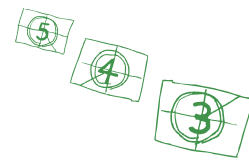
2

予告編制作、発表

勢いと直感で、まずは腕試し



主人公について調べ、内容や演出、表現方法をどうするか話し合い、自由に予告編をつくります。クラスでの「予告編」発表会では、みんなで審査をして“予告編グランプリ”を決めます。



3

リサーチ、本編組み立て

自分の将来についても
考えてみる



予告編づくりの経験を経て、「本編」づくりへ。チームでブレイン・ストーミングを繰り返しながら進めます。みんなで出したアイデアをもとに、材料集めやリサーチをし、パソコン、模造紙などを使ってまとめていきます。



1

チームづくり、人物選び

“チームらしさ”は、
すぐに現れる



3～5人のチームを結成し、リーダーを決めて、チーム名や意気込みを考えます。そして、チームで相談してドキュメンタリーの主人公となる人物を選択します。



4



リハーサル、ブラッシュアップ

最後の最後まで磨きをかける

チームで段取りを確認したり、原稿の読み合わせをするなど、本番を想定したリハーサルを行い、最後の最後までチームで話し合いながら作品に磨きをかけていきます。

5

発表

チームの個性が花開く作品発表

完成した「人間ドキュメンタリー」をクラスで発表。みんなで審査して、“グランプリ”を決めます。クラス内だけでなく学年での発表会を実施することもできます。



6

振り返り、まとめ

自分たちの軌跡を、
振り返る

これまでのワークを振り返って、チームでディスカッションします。最後はひとりひとりレポートを書いて終了です。



ワークの流れ

12のステップにそって進行します。チームをつくり、まず一度簡単に制作、続いて本格的な制作に挑戦し、プレゼンテーション。最後に活動を振り返ります。取り組み時間数は学校の状況に合わせて柔軟に設定することが可能です。

(※1ステップの目安は最少45分です)

“人間ドキュメンタリー”ワーク

- 1 最初の準備
- 2 話し合い
- 3 早くも仕上げへ
- 4 ミニ・プレゼン
- 5 本格プレスト
- 6 続いてリサーチ
- 7 組み立て①
- 8 組み立て②
- 9 リハーサルをしよう
- 10 ブラッシュアップ
- 11 “本番”!
- 12 振り返り

先生はファシリテーター

先生はロールモデルについての知識を教える必要はありません。先生は授業の円滑な進行と作品制作の環境を整え、信じて見守ることで、作品づくりを支援します。それだけで、生徒たちは自発的に作品をつくり上げていきます。

